
CCDS IoTセキュリティシンポジウム2020

サーティフィケーションプログラムのポイント と申し込み方法

2020年6月26日
株式会社マストトップ

田久保 順

-
1. CCDSサーティフィケーションプログラムの概要
 2. CCDSサーティフィケーション取得の
手続き方法について
 3. CCDS指定検査資格講習について
 4. CCDS指定検査資格試験について

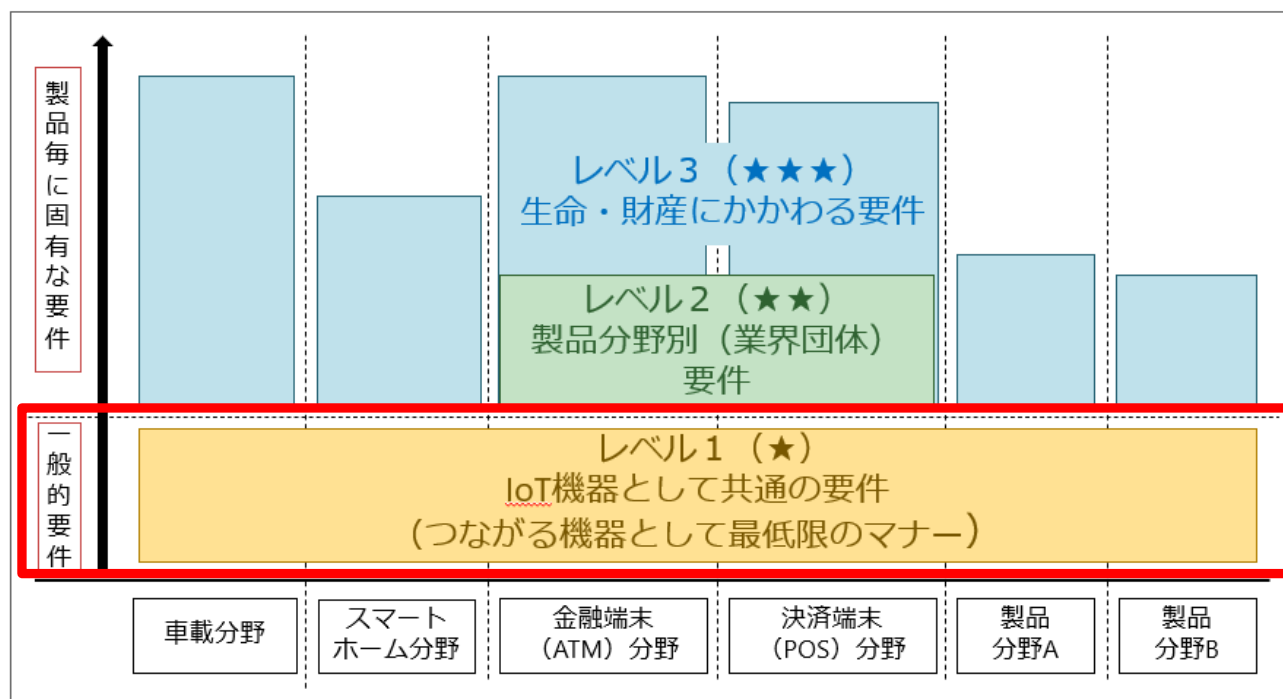
1. CCDSサーティフィケーション プログラムの概要

■サーティフィケーションプログラムの目的

・これからの IoT 社会では、安心して使用できる製品のセキュリティ基準や、製品がそのセキュリティ基準を満たすことを検証するスキームが重要になります。本協議会では、日常生活で利用する様々な機器が横断的につながる世界において、あるべきセキュリティ対策について検討を重ね、この度、IoT 機器共通の要件に対するサーティフィケーションプログラムを開始いたします。

・消費者にも分かりやすいよう、★の数でセキュリティ対策のレベルを示す3階層のモデルを提示

・まずはレベル1の共通要件から、サーティフィケーションプログラムをスタートします



セキュリティ要件



IoT機器が共通して守るべき、11のセキュリティ要件を定義（ミニマムな要求事項）

No.	サーティフィケーション要件
1	Web入力経由によるSQLインジェクションの不具合がないこと
2	Web入力経由によるクロスサイトリクエストフォージェリの不具合がないこと
3	Web入力経由によるパストラバーサルの不具合がないこと
4	未使用のTCP/UDPポートを外部より使用されないこと
5	システム運用上、必要なTCP/UDPポートには、適切なアクセス認証方法（機器毎にユニークなIDとパスワード、もしくは外部公開の恐れのない管理されたIDとパスワード）で管理されていること
6	<ul style="list-style-type: none">・ 認証情報の設定変更が可能なこと・ 初めて利用する際、設定変更を促す機能を有すること・ IDとパスワードはハードコーディングをしないこと（初期パスワードは共通でも可とする）
7	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者の設定した情報、および機器が利用中に取得した情報は、容易に消去できる機能を有すること・ 情報消去後も、更新されたシステムソフトウェアは維持されること
8	Wi-Fiアライアンス推奨の最新の認証方式が装備されていること
9	Bluetooth SIG推奨の最新のペアリング方式が装備されていること
10	システム運用上、不要なクラスを認識できないこと
11	<ul style="list-style-type: none">・ ソフトウェア更新が可能なこと・ ソフトウェア更新された状態が電源OFF後も維持できること

IoTサイバー保険の付帯



CCDSは、三井住友海上火災保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と連携し国内初となる「IoT機器保険付認証制度」を構築。CCDSがマーク付与した製品に対してサイバー保険を自動付帯します。

安心・安全なIoT機器を選択するための指標

マークによって、分野を問わず最低限守るべき要件を満たしていることが確認できるため、ユーザーがIoT機器を購入する際に選択の指標となります。

フォレンジック調査等、様々な費用・損害を保険で補償します。

原因調査
インシデントの発生またはそのおそれがある場合、迅速に調査を実施します。

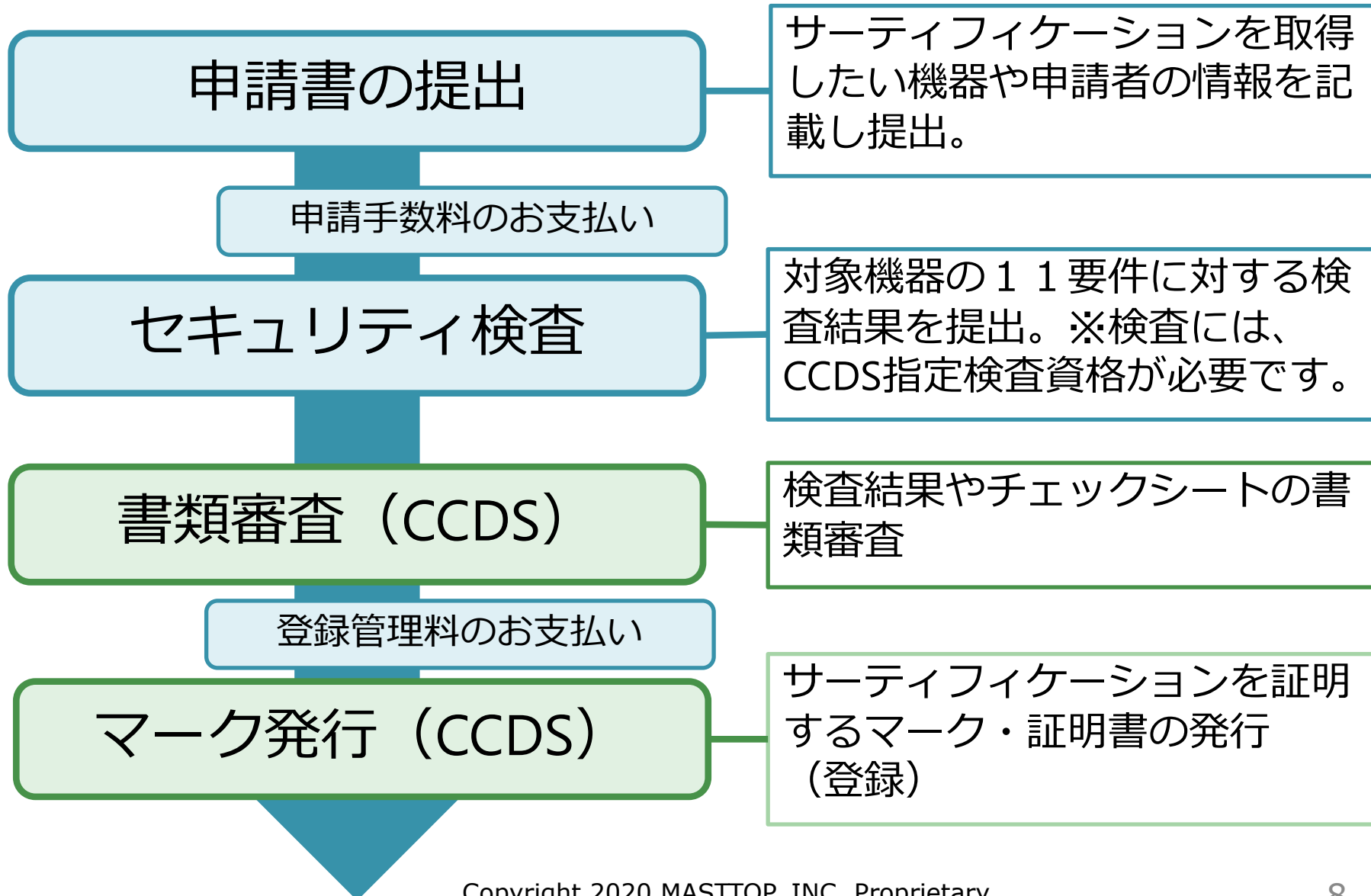
損害賠償金
メーカーに過失が発生する場合、賠償金をお支払いいたします。

その他費用損害
損害拡大防止・再発防止費用等、インシデントに起因する費用を幅広く補償します。

事故時専門業者紹介サービス
サイバーセキュリティに関する事故が発生した際、CCDS・三井住友海上が迅速に専門業者を紹介いたします。



2. CCDSサーティフィケーション取得の 手続き方法について



申請手続の詳細について

- サーティフィケーションの申請に関する詳細は、CCDSの下記、ウェブページをご参照ください。



一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会
CCDS Connected Consumer Device Security Council

トップ 協議会について 公開資料 入会のご案内 **サーティフィケーション** 会員専用ページ

トップ > サーティフィケーション > 申請方法

申請方法

サーティフィケーションの申請方法・手順

CCDSサーティフィケーションマークの申請は、以下のフローに沿って手続を行って下さい。
※サーティフィケーションや申請方法に関するお問い合わせは、FAQよりお願い致します。
※電話やメールでの対応は行っておりませんのでご注意ください。
※また現時点での申請受付はCCDS幹事会員・正会員のみとなります点も ご了承下さい。

申請

・ 所定のマーク申請書を、メールにて指定検証事業者へ提出いただきます。

- 関連ドキュメントのダウンロード
 - ・ IoT分野共通セキュリティ要件ガイドライン 2019年版_ver2.0
 - ・ CCDSサーティフィケーションプログラム規

申請方法

ココです

3. CCDS指定検査資格講習について

CCDSサーティフィケーションプログラム

メーカーによる自主検査

専門業者による第三者検査

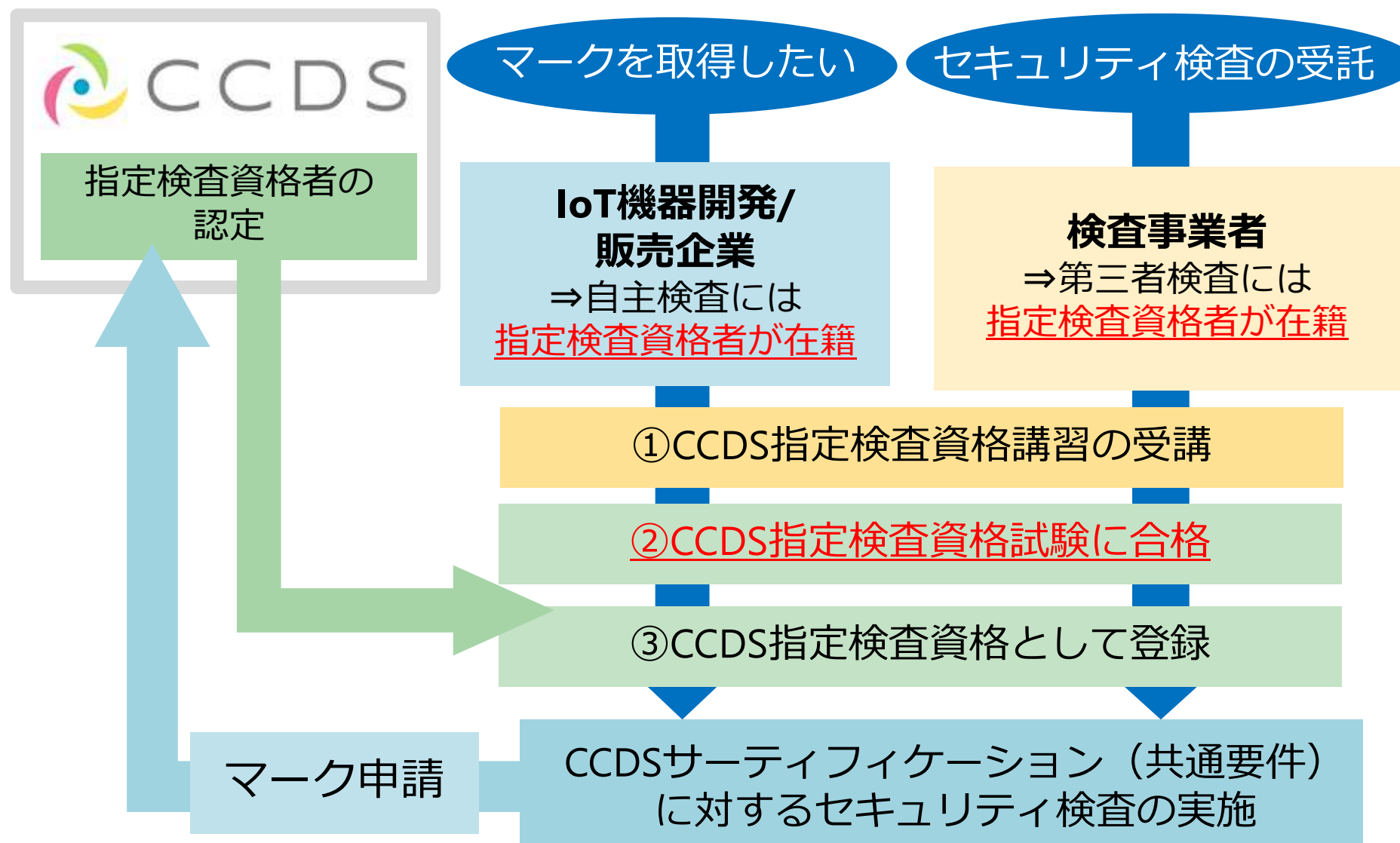
セキュリティ要件に対する適合検査が必要

■ 課題

- ・ IoTセキュリティ人材の不足
- ・ 適合検査基準・手順の共通認識

CCDS人材育成プログラム
～指定検査資格講習～

CCDSとして、検査基準の共有とスキル修得を支援



※指定検査資格者の登録は、CCDS正会員・幹事会員メンバー限定

- ・本セキュリティ人材育成プログラムは、CCDSの認定を受けたセキュリティ人材プログラムであり、CCDSサーティフィケーションマークの取得申請に必要な検査手順・手法の知見や技術を習得できる内容です。

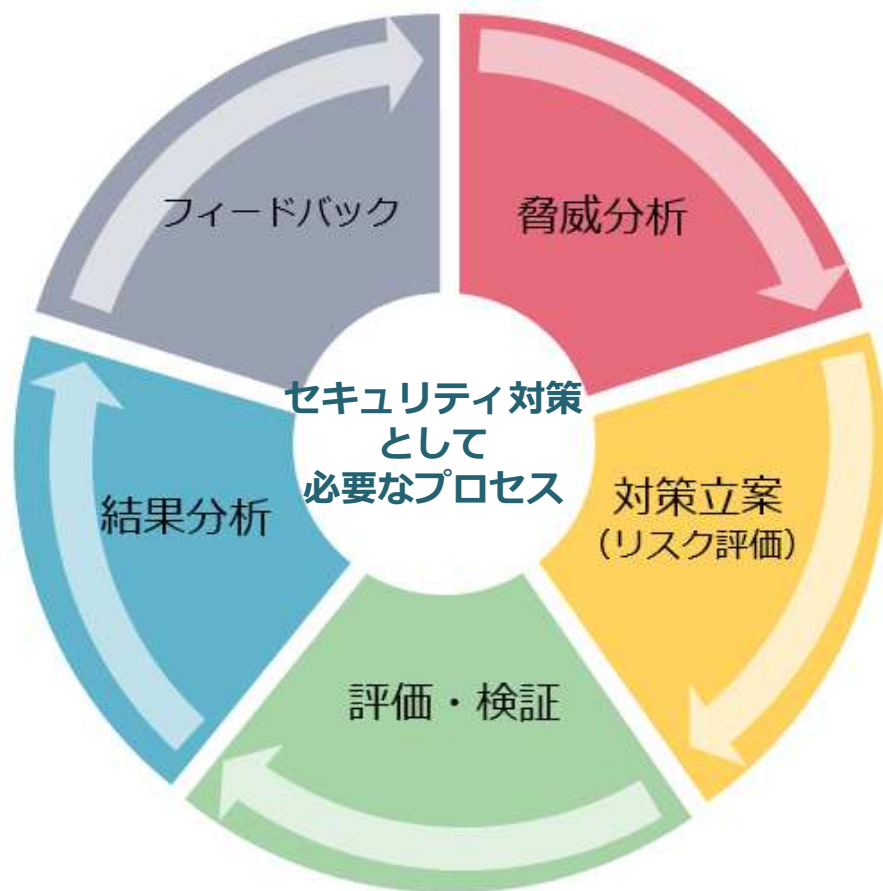
①CCDS指定検査資格講習

⇒検証に必要な知識の習得と確認
自動車免許で言えば... 学科試験

②CCDS指定検査資格試験

⇒実際に検査を実行することができるか
自動車免許で言えば... 路上試験

両方揃って
はじめて
資格登録と
なります



CCDS指定検査資格講習
必要なプロセスをオールインワンで学ぶことができる

脅威分析：リスクを発生させる要因の分析
⇒ どこがどのように危険なのか？

対策立案：リスクを回避、軽減させる対策の立案
⇒ 何をどう対策すれば良いのか？

評価・検証：対策効果のセキュリティ検査
⇒ 対策の結果として、実際に問題はないか？

結果分析：検査結果の分析
⇒ 問題があった場合解決策は？

- ・ 募集期間：別紙、募集要項参照
- ・ 講習開催予定：別紙、募集要項参照
- ・ 講習プログラム
 - 90分×12コマの講習プログラムを実施（詳細後述）
- ・ 開催場所：
 - CCDS/マストトップ セミナースペース
 - 〒141-0021
 - 東京都品川区上大崎2-12-1 野田ビル3F
- ・ 募集人数：10名（上限）、最小開催人数：6名
- ・ 受講費用：
 - ① 幹事・正会員割引価格
 - ・ 幹事会員：20万円／1名
 - ・ 正会員：25万円／1名
 - ・ 一般会員：30万円／1名（検査資格登録不可）
 - ② 2名セット割引価格
 - ・ 幹事会員：35万円／2名
 - ・ 正会員：45万円／2名

- ・ 脅威分析> 検査基礎> 検査実践と、段階を追って修得していくプログラム構成。
- ・ ツールや実機を使った実習と、講義がワンセットとなった実践的な演習スタイル

1日目 脅威分析コース：90分×4講座

- ・ 共通要件の内容理解：講義
- ・ 脅威分析や対策立案、リスク分析の実践：講義＋実習

2日目 検査基礎コース：90分×4講座

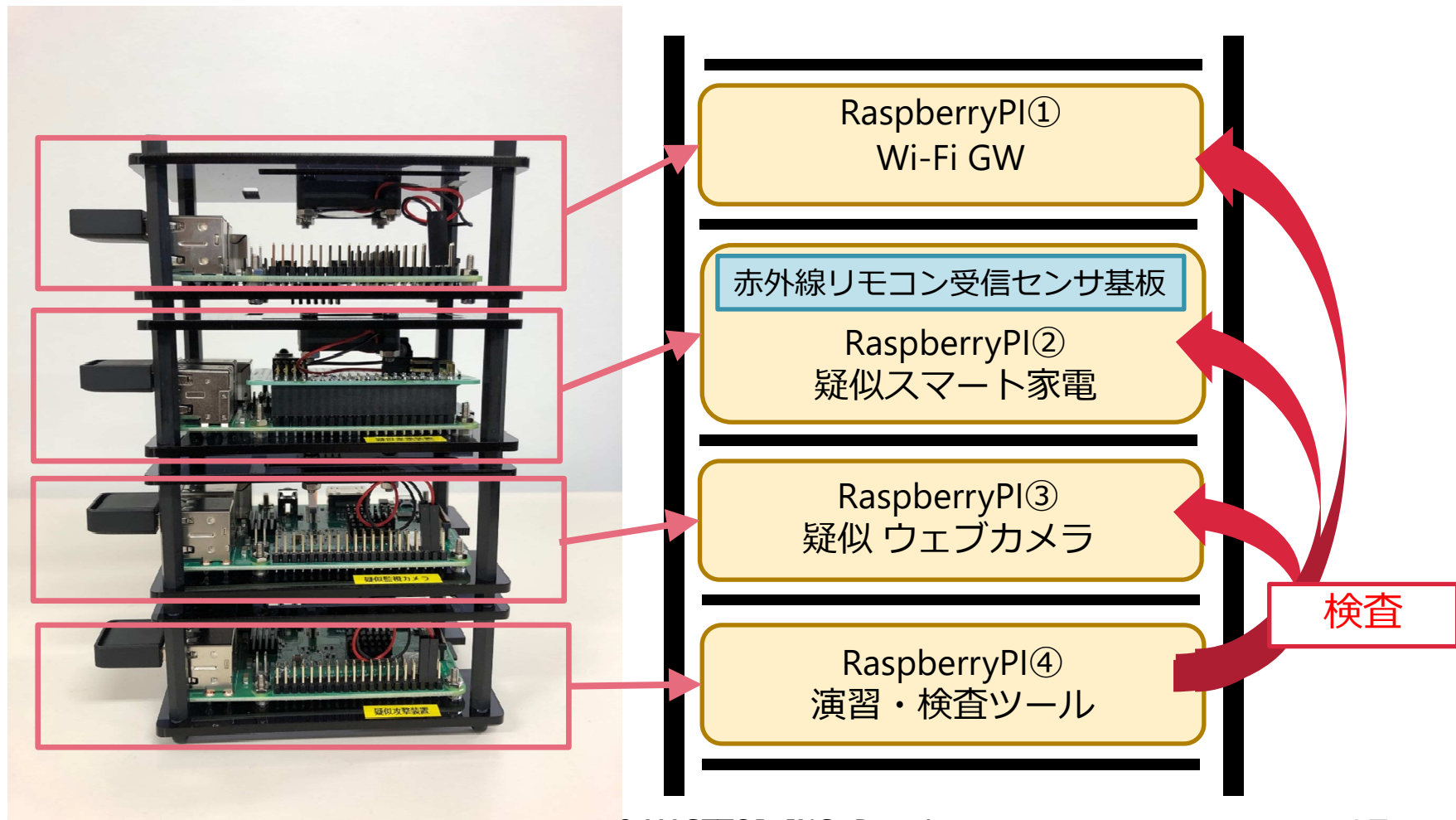
- ・ セキュリティ検証環境の環境構築：講義
- ・ セキュリティ検証ツールのオペレーション演習：講義＋実習
- ・ 11要件に対するセキュリティ検査のポイント：講義

3日目 検査実践コース：90分×4講座

- ・ IoT機器を使用したセキュリティ検査実習（1）（2）：講義・実習
- ・ 疑似スマートホーム環境に対する演習（1）（2）：講義・実習

演習環境のご紹介

- ・ 演習/検査ツールと、検査対象となる疑似IoT機器を RaspberryPIにより、一体化した構成。
- ・ 各受講者に環境を貸与し、ツールを使った実習が可能。



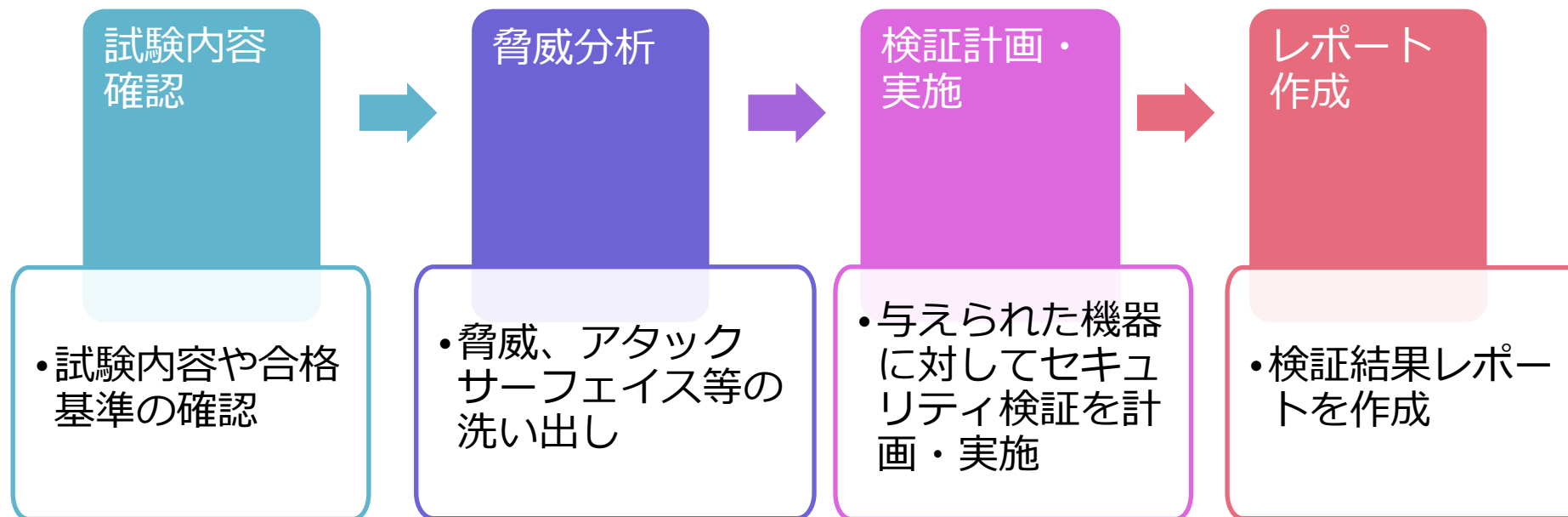
4. CCDS資格取得試験について

- CCDSサーティフィケーションプログラムにおける、IoT機器共通のセキュリティの11要件（以降、CCDS11要件）を検証できるスキルを持ち合わせているかどうかを確認する
- 試験方針
 - CCDS11要件を理解していること
 - CCDS11要件をチェックする手段を理解していること
 - 実際に脆弱性検証ツールの操作ができること
(nmap, aircrack-ng, THC-Hydra, OpenVAS, Wireshark等)
 - 脆弱性検証手法を理解していること
(脅威分析、検証内容策定、検証の実施、報告書作成)

- 実施日程：4月、7月、9月、12月（年間計4回を予定）
 - 第1回目は2020年8月7日（金）の予定

※事前に2020年度の指定検査資格講習を、
7/17（金）、7/22（水）、7/31（金）に実施予定。

- 試験時間：360分
- 受験手数料：1回 5,000円
- 試験会場：CCDS東京事務所
- （東京都品川区上大崎2-12-1 野田ビル3F）
- 申し込み方法：CCDS会員向けに別途アナウンスします



※受講生が使用する検証実施用機器として、検査資格員講習でを使用した機器を提供

※詳細は近日中にCCDS会員向けにアナウンス予定です

本日のご説明は以上となります。
ご清聴ありがとうございます。

